

地球環境問題について

白川義人/台湾傑睦股份有限公司廠務經理

世界各地で地球環境保護に関する法制化や一般人民による NGO 活動が沸き起こる事は、非常に良い兆候ではないかと思う。

また、今後の人類存続にとって必要不可欠な事であり、それら活動が加速出来なければ、恐らく地球は死滅する、或いは、人類の方が先に絶滅してしまうのかも知れない。

近来の異常気象や、頻繁に起こる天災、内戦紛争を見ていると誰もがなぜなのか？ と言う気になる。

理由は単純明快、これまで人類自身があらゆる面で利益追及を最優先し、地球の様々な場所から搾取を繰り返して来た挙句の果ての結果であろう。

しかし現在でも、地球環境保護を語る一方、常に国家間の利権争いと様々な搾取は続いている。

果たして、この様な状況下の中で、真の地球環境保護や環境維持を世界各国が協調し、同じ概念で取り組む事は可能なのか？

未だ疑問に思もえる場面が非常に多い。

またなぜ、何時の時代でもどんな舞台でも先進国主導でなければならないのか？

地球を守ると言う大儀名文を盾に、常に国家利己主義がはたらいている。

このままでは、地球環境保護どころか、それ以前の段階で地球崩壊の道を辿る気がしてならない。

それらを未然に防ぐ為には、世界中に山積している様々な問題を一つ一つ解決して行く以外に道は無いと考える。

内戦紛争、食料問題、貧困問題、人権問題、格差社会、少子化社会、これらが環境問題へと全て繋がる根底要因となっている気がする。

よって今後、私は、年少期の素直で純粋な気持ちをもう一度思い起こし、自己の利害を捨て、地球人類の一員として、微力ながらも地球環境保護活動や社会問題へと奉仕して行く所存である。

そして、それら概念が国家規模、地球規模へと発展し、将来の我々の子孫が世界中の隔たりを克服し、平和で且つ安全な地球環境で共存して行く事を切に望む。

その為には、決して諦めず、地道で地味な草の根活動を粘り強く続けて行く
事こそが、願いを成就する事だと信じてやまない。